

暑かった夏

というわけで、2022年の夏も暑かった。気象庁によれば、東・西日本と沖縄・奄美では気温がかなり高く、西日本では1946年の統計開始以降1位タイの高温を記録したそうである。おまけに、九州から関東甲信地方の梅雨明けも記録的な早さであったのが、最終的には7月下旬となったそうである。

年をとってくると、何かと昔と比べたくなるらしい。昔はこんなに暑くなかったぞと思う。

これも気象庁によると、熱帯夜の日数は1910年ごろには年間5～6日であったものが、2020年には25日だという。真夏日は33日と41日であり、やはり昔と比べると夏が暑くなっているのは間違いないようである。冬の寒さはというと、冬日が1910年には70日あったものが52日に減っており、冬は昔より暖かくなっている。雨の降り方も激しくなっているような気がする。全国300地点で50mm以上の降水があった回数は1975年ごろは1年間に210回くらいであったが、2020年には330回を超えている。

現在の地球は過去1,400年で最も暖かくなっているそうである。地球規模で気温や海水温が上昇し氷河や氷床が縮小する現象を地球温暖化というが、平均的な気温の上昇のみならず、熱波や大雨、干ばつの増加などのさまざまな気候の変化を伴うとのことである。2022年、日本の猛暑だけでなく、中国の熱波と干ばつ、ヨーロッパの干ばつ、北インドの熱波、南アフリカやブラジル、アッサムやパキスタンの洪水など、異常な気象が続い



ている。地球温暖化による気候の変化が起こっているのだろう。

温暖化の進行を抑えるために、二酸化炭素の排出を抑えることが重要であることは大多数の人々の共通理解と考える。化石燃料の大量消費に歯止めをかけ、風力や太陽光、地熱、潮汐、バイオマスなどの再生可能エネルギーを、これまで以上に利用できるようにすることが必要である。原子力発電の利用を促進しようとする考えもあるようだが、福島第一原発事故や六ヶ所再処理工場の現状を見ると、原子力発電の将来は明るいものではないと思う。

暑かった夏は朝晩の気温が下がって秋に近いことを感じさせるが、ウクライナでの戦争はどのように収束へ向かうのか、まだ見通せない。一日も早い戦闘の終結を望みたい。

県下唯一の医書出版協会特約店

医学書専門 井上書店
看護学書

〒755-8566 宇部市南小串2丁目3-1(山口大学医学部横)
TEL 0836(34)3424 FAX 0836(34)3090
[ホームページアドレス] <http://www.mm-inoue.co.jp/mb>
新刊の試覧・山銀の自動振替をご利用下さい。